

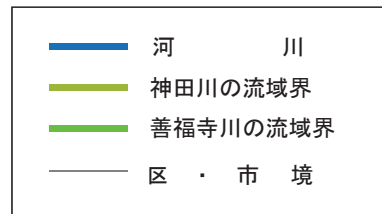
河川事業概要

善福寺川の概要



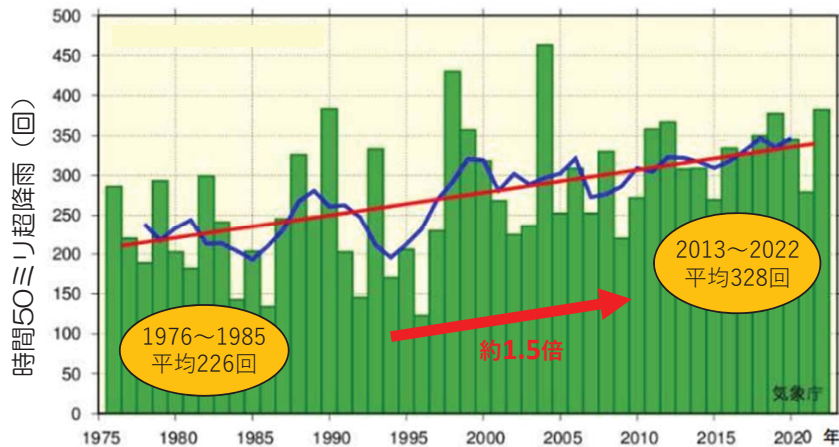
○流域面積 18.3km² (中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市)

○河川延長 10.5km 下流端：神田川合流
上流端：杉並区善福寺町二丁目



近年の降雨状況の変化

■ 1時間に50ミリを超える降雨の回数



棒グラフ (緑) は各年の年間発生回数、折れ線 (青) は5年移動平均値、直線 (赤) は長期変化傾向を示す
データ出典: 気象庁 HP「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」

今後も、1時間に50ミリを超える降雨(台風や雷雨性の局地的集中豪雨)の増加が予測され、水害リスクは益々高まっていく

降雨状況の変化への対応が急務

善福寺川における過去の代表的な水害

■ 平成17年9月の豪雨

妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100mm以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で浸水家屋3,000戸以上の甚大な被害が発生。

- ・総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)
- ・時間最大雨量: 112mm/h(下井草観測所・杉並区)



妙正寺川天神橋の様子



工事の進め方

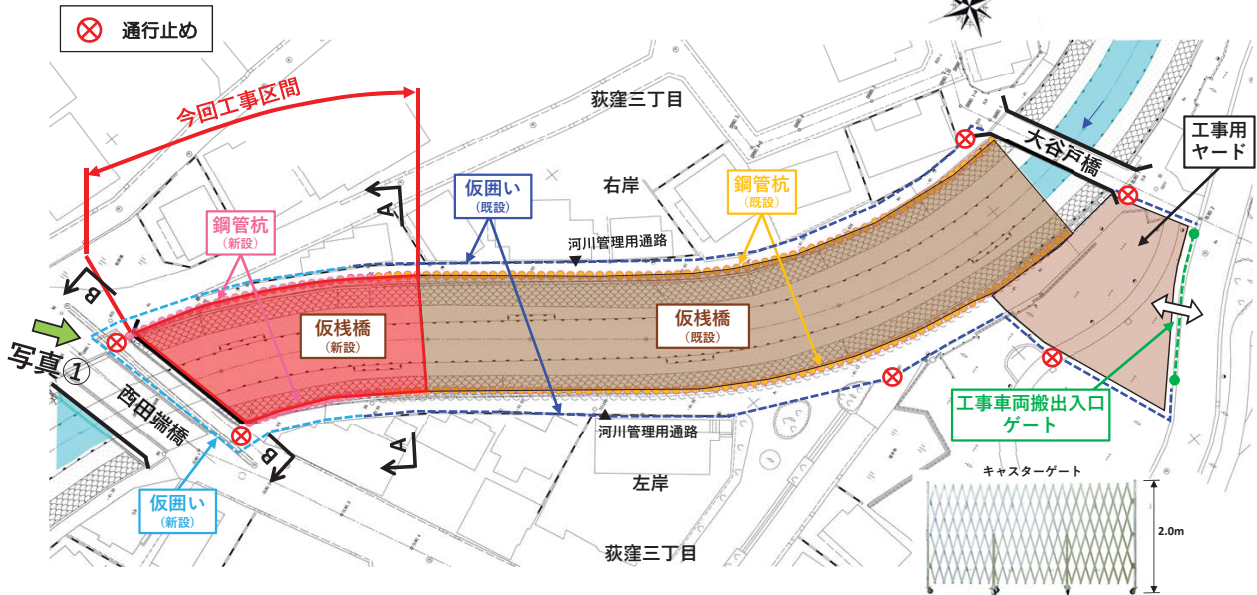
護岸工事の進め方（西田端橋下流～大谷戸橋）



本工事の内容

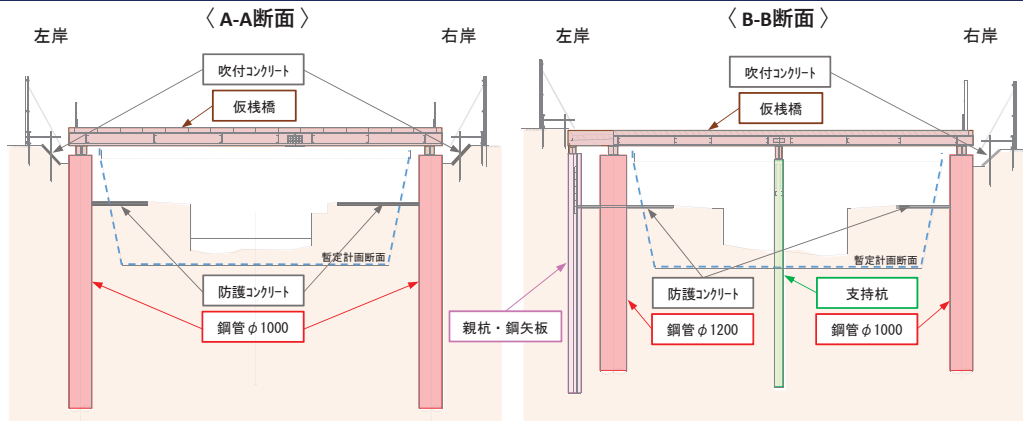
工事内容（河川工事）

本工事は、善福寺川の西田端橋上流にて鋼管杭（護岸の基礎となるもの）圧入及び仮栈橋を設置するものです。

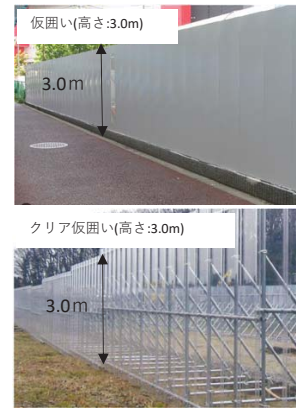
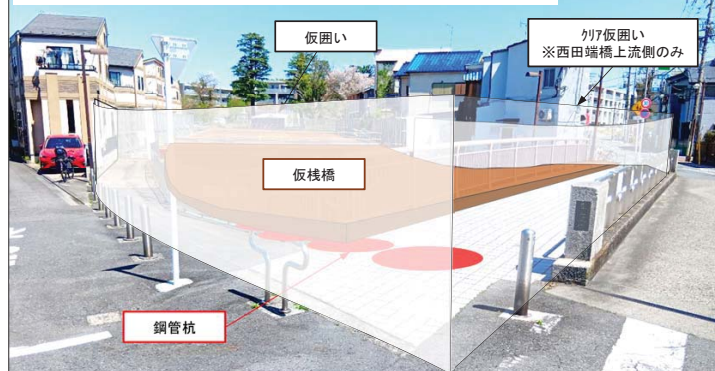


- 工事に伴い西田端橋上流側の歩道が通行止めとなりますが、車道・下流側歩道は通行可能です（時期は別途周知いたします）
- 工事用ヤード及び仮栈橋は次回工事で使用するため、今回工事完了後も残ります

今回工事の完了断面及び整備前後のイメージ



写真① 西田端橋右岸側より上流側を望む※イメージ



工事用車両搬出入路図



工事工程表

	令和8年										令和9年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準備工・片付け工	■	■									■	
搬出入路整備・工事ヤード整備 (工事車両搬出入路を整備し、 西田端橋周辺に囲いを設置します)		■					■			■		
構造物取壊し・杭打前掘削 (上部の既設護岸を取壊し、土を除去し ます)			■	■	■	■	■		■			
鋼管杭圧入・仮棧橋工 (新しい護岸の基礎となる杭を圧入して 作業スペースの棧橋を作ります)			■	■	■	■	■		■	■		
護岸撤去掘削・防護コンクリート (杭周りの既設護岸を取壊し、防護する コンクリートを構築します)					■	■	■	■	■	■		
旧橋撤去 (西田端橋上流側の歩道橋を撤去しま す)							■	■				

令和8年6月上旬
現場着手 ※西田端橋付近

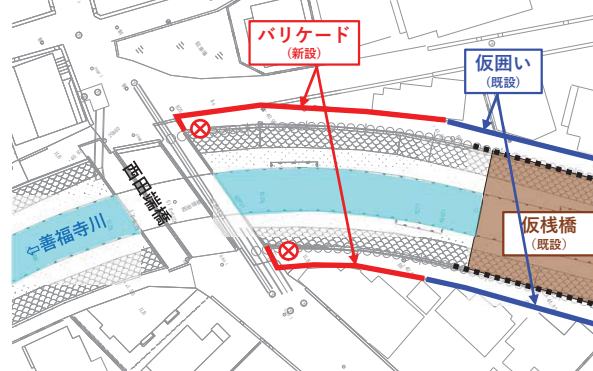
令和8年9月上旬～(予定)
西田端橋(上流側歩道)通行止め
※自転車・歩行者の皆様には
下流側歩道の通行をお願い致します

STEP1 工事ヤード整備 (①R8年6月・②R8年9月)

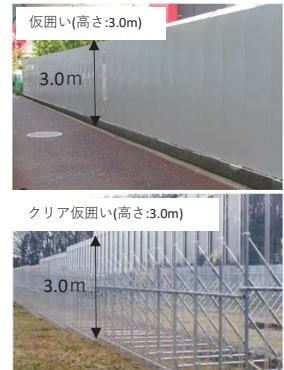
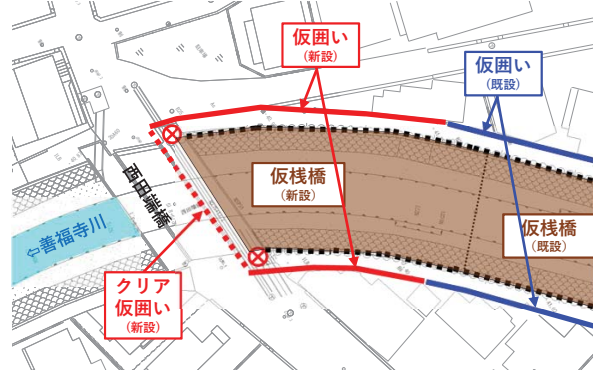
※西田端橋周辺

- STEP 1 工事ヤード整備
- STEP 2 構造物取壊し・杭打前掘削
- STEP 3 鋼管杭圧入・仮棧橋
- STEP 4 護岸撤去掘削・防護コンクリート
- STEP 5 旧橋撤去

①R8年6月上旬～8月下旬(予定) ※鋼管圧入の施工に先立ちバリケード設置



②R8年9月上旬～(予定) ※西田端橋の施工に先立ち仮囲いを設置

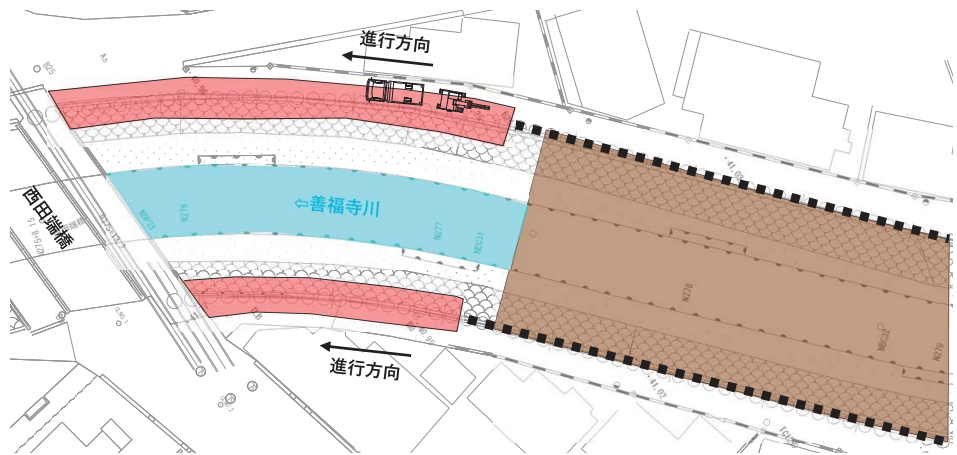


STEP2 構造物取壊し・杭打前掘削 (R8年6月~11月)

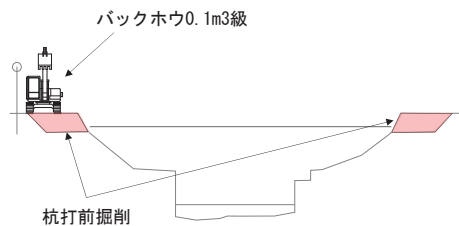
- STEP 1 工事ヤード整備
- STEP 2 **構造物取壊し・杭打前掘削**
- STEP 3 鋼管杭圧入・仮栈橋
- STEP 4 護岸撤去掘削・防護コンクリート
- STEP 5 旧橋撤去



(バックホウ0.1m3級) (2tダンプトラック)



(施工イメージ)

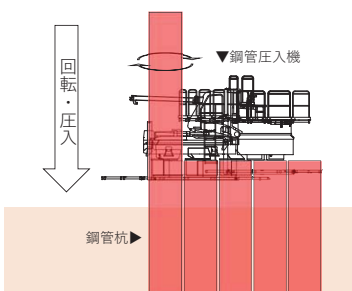


- ① 転落防止柵を撤去する。
- ② バックホウで既設護岸の撤去及び土砂を掘削し、ダンプトラックに積込、場外へ搬出する。

STEP3 鋼管杭圧入・仮栈橋 (R8年6月~12月)

- STEP 1 工事ヤード整備
- STEP 2 構造物取壊し・杭打前掘削
- STEP 3 **鋼管杭圧入・仮栈橋**
- STEP 4 護岸撤去掘削・防護コンクリート
- STEP 5 旧橋撤去

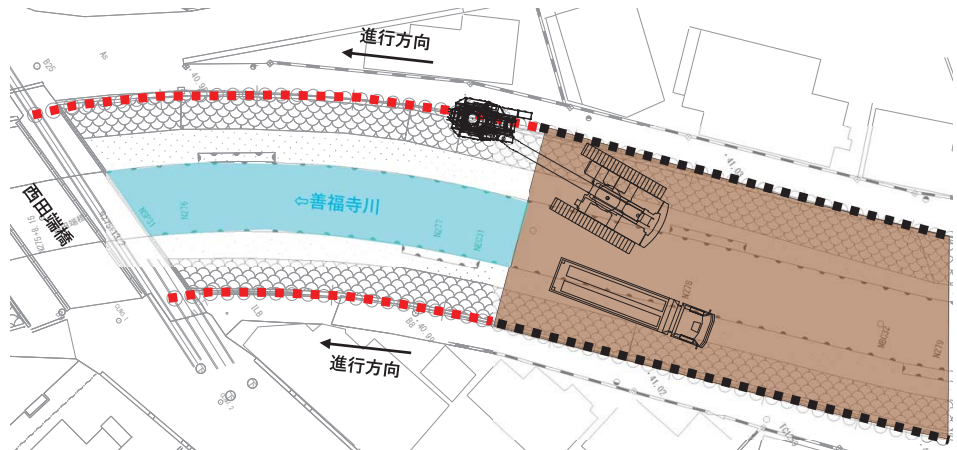
(鋼管圧入施工概念図)



(70t吊りクレーン)

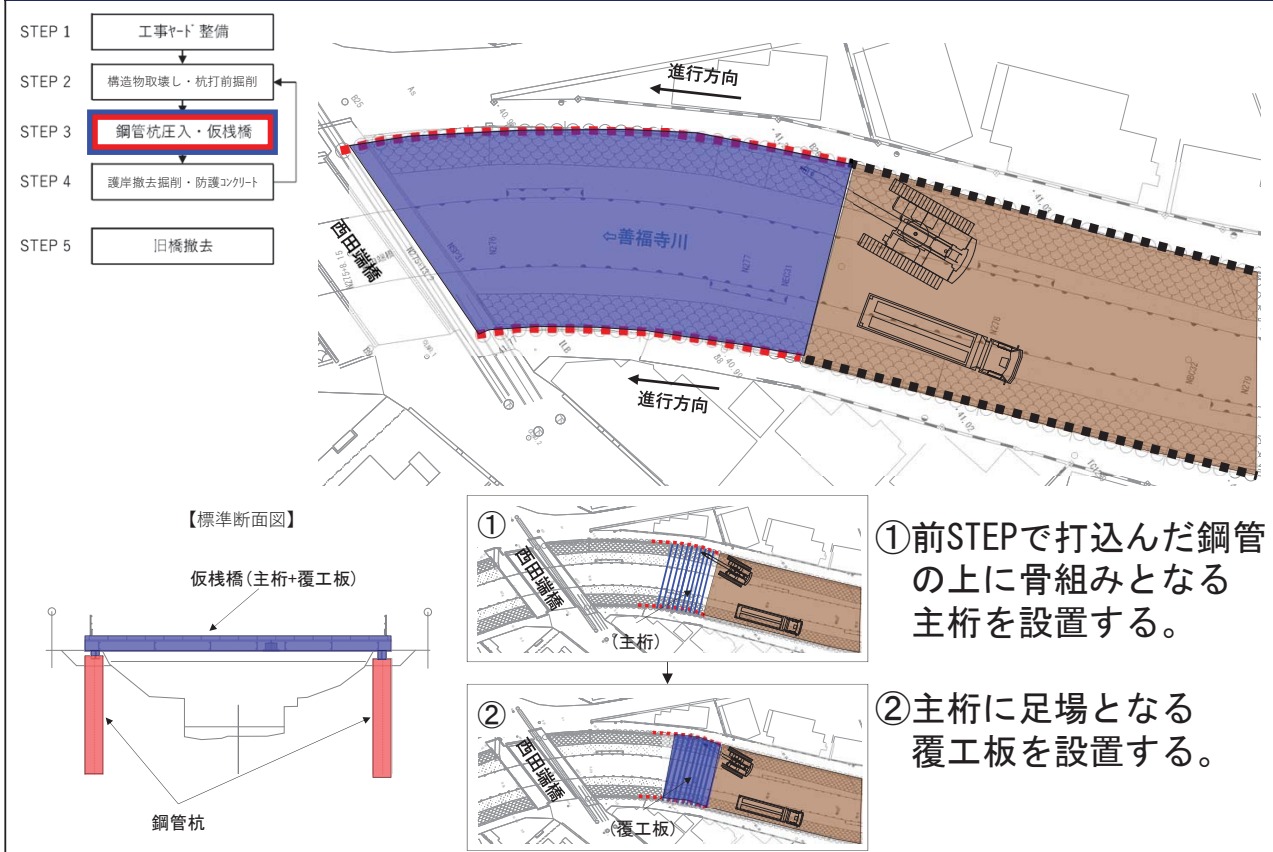


(鋼管圧入機)

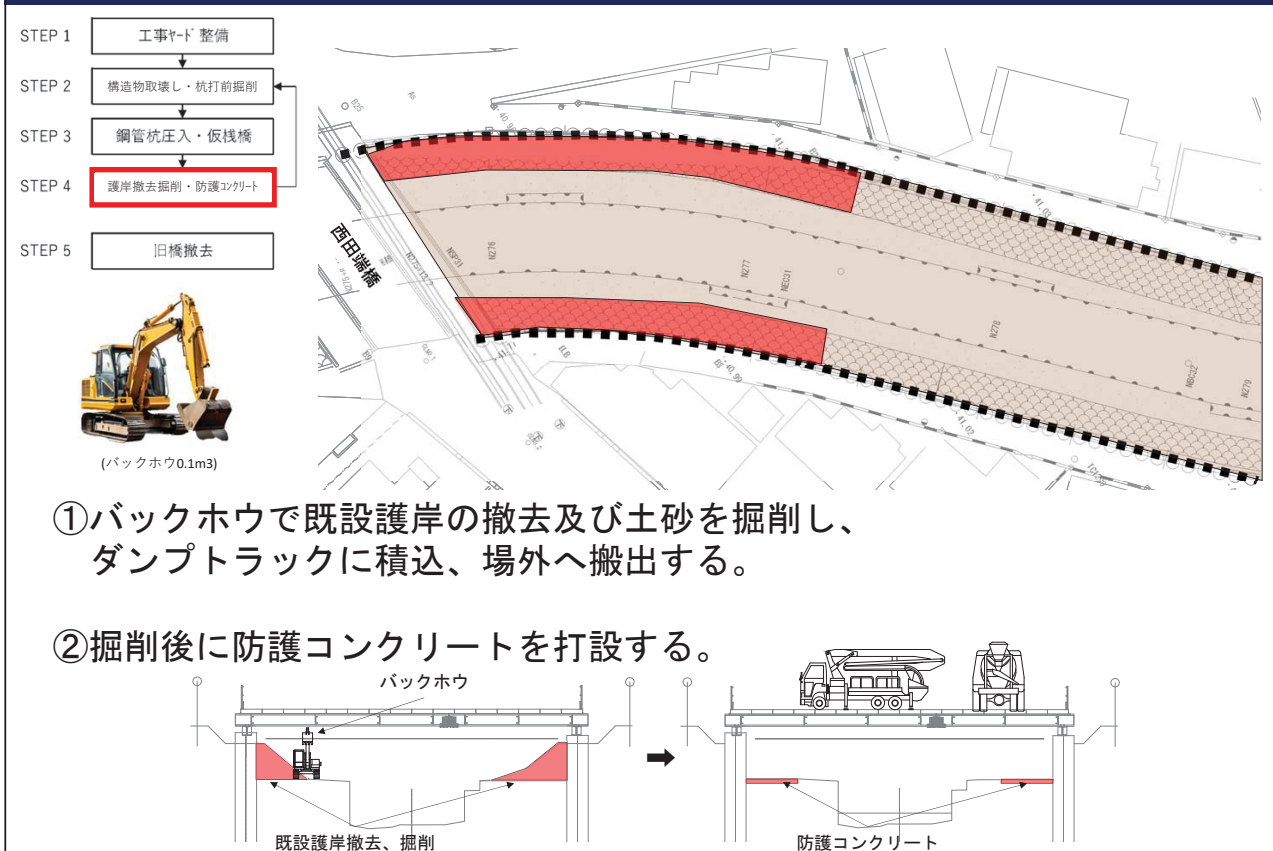


- ① 仮栈橋で70t吊りクレーンにて鋼管圧入機を組立・設置する。
- ② トレーラで搬入した鋼管杭を70t吊りクレーンで移動させ、鋼管圧入機で所定位置へ打込む。

STEP3 鋼管杭圧入・仮栈橋 (R8年6月~12月)

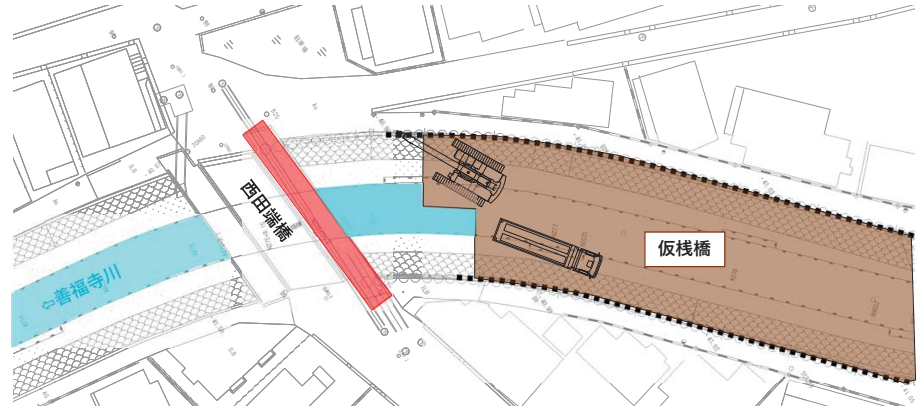


STEP4 護岸撤去掘削・防護コンクリート (R8年8月~12月)

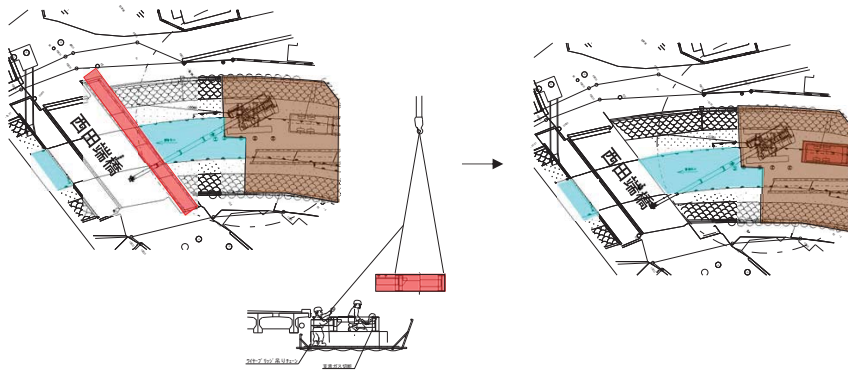


STEP5 旧橋撤去 (R8年9月~10月)

- STEP 1 工事キート整備
- STEP 2 構造物取壊し・杭打前掘削
- STEP 3 鋼管杭圧入・仮栈橋
- STEP 4 護岸撤去掘削・防護コンクリート
- STEP 5 **旧橋撤去**



西田端橋上流側歩道部を分割切断し、70t吊りクレーンにて移動、撤去する。



工事前後のイメージ

工事前写真 (善福寺川 西田端橋上流)



工事後写真 (善福寺川 西田端橋上流)



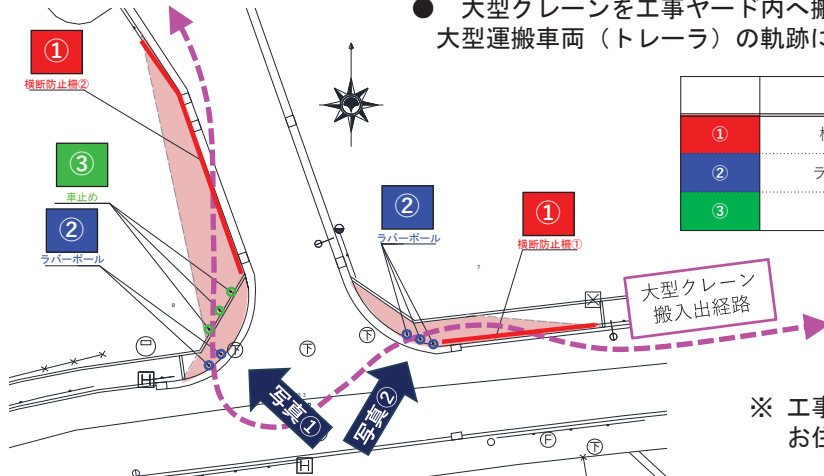
搬出入路整備工事

工事内容（搬出入路整備）



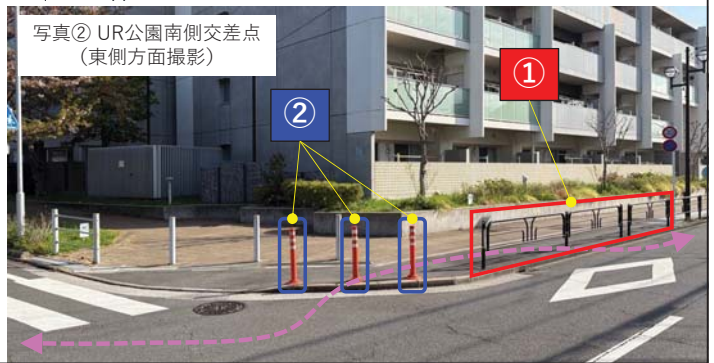
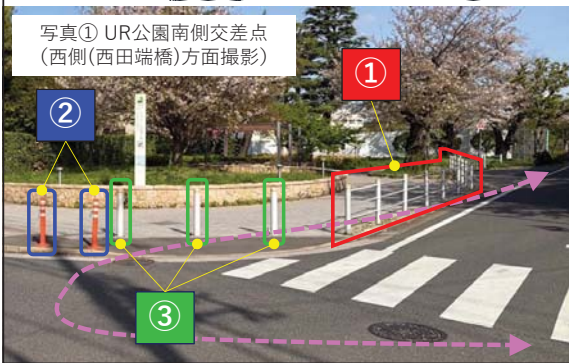
UR公園南交差点の整備

- 大型クレーンを工事ヤード内へ搬入又は工事ヤード外へ搬出する際に大型運搬車両（トレーラ）の軌跡に支障となる箇所を撤去・復旧します。



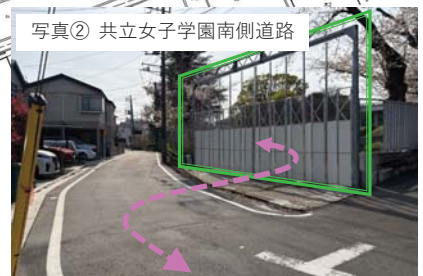
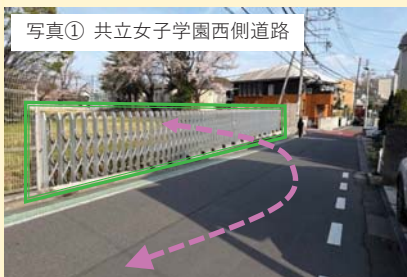
	現 況	工事用道路整備
①	横断防止柵	【夜間工事】 大型クレーン通行前に撤去 通行後、翌朝までに復旧
②	ラバーボール	
③	車止め	

※ 工事実施前（2週間前）には、近隣にお住まいの方々へお知らせいたします。



共立女子学園敷地の整備

- 大型クレーンを工事ヤード内へ搬入又は工事ヤード外へ搬出する際に既存の道路幅では大型運搬車両（トレーラ）が曲がれないため、当該敷地内を大型運搬車両が通行します。



※ 工事実施前（2週間前）には、近隣にお住まいの方々へお知らせいたします。

杉並高校敷地の整備

● 大型クレーンを工事ヤード内へ搬入又は工事ヤード外へ搬出する際に既存の道路幅では大型運搬車両（トレーラ）が曲がれないため、当該敷地内を大型運搬車両が通行します。

現況	工事用道路整備
駐輪場屋根（一部）	大型クレーン搬入前（R8.5月下旬頃）に撤去 搬出後（R8.12月頃）に復旧

写真① 杉並高校北側道路

写真② 杉並高校東側道路

写真③ 駐輪場屋根

※撤去時期については、当該高校と日程調整のうえ、5月下旬に実施予定です。復旧時期は再度調整のうえ決定いたします。

天王橋南側道路の整備

● 大型クレーンを工事ヤード内へ搬入又は工事ヤード外へ搬出する際に既存の道路幅では大型運搬車両（トレーラ）が曲がれないため、大型運搬車両の軌跡に支障となる箇所を撤去・復旧します。

写真① 天王橋南側交差点（天王橋方面撮影）

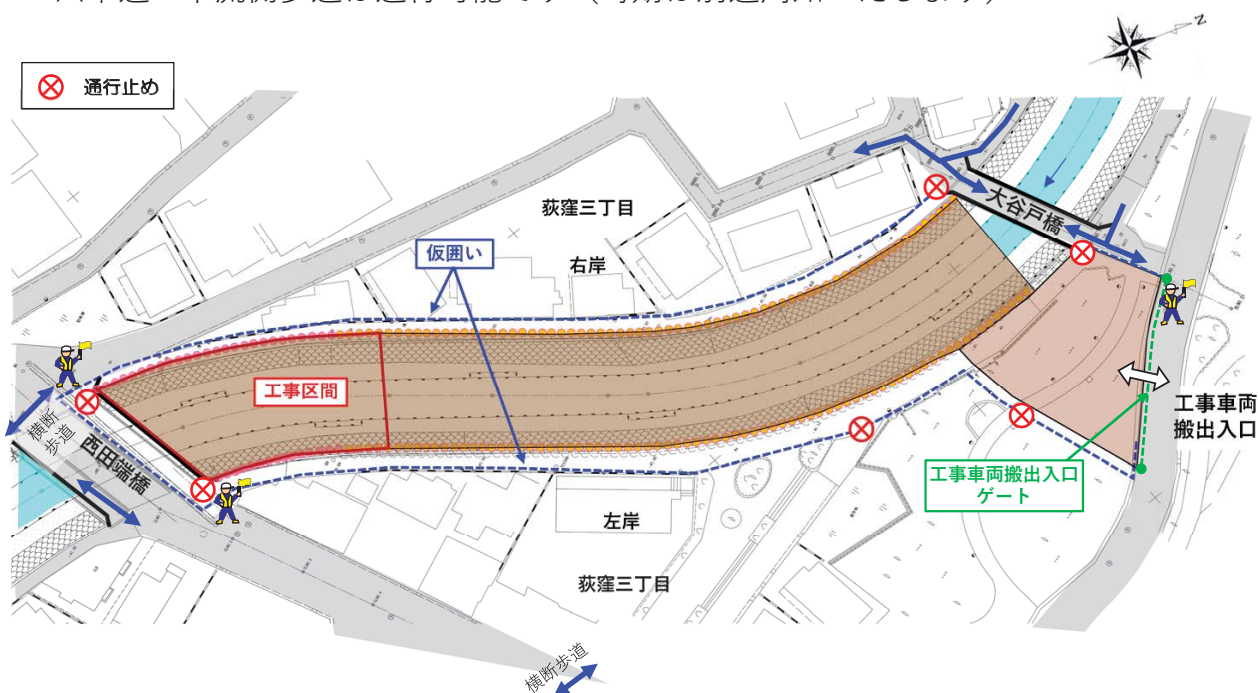
	現況	工事用道路整備
①	バス停標識	【夜間工事】 大型クレーン通行前に撤去 通行後、翌朝までに復旧
②	横断防止柵（1.5m）	
③	横断防止柵（1.5m+1.0m）	
④	車止め	

※ 工事実施前（2週間前）には、近隣にお住まいの方々へお知らせいたします。

工事中の迂回路 ・安全対策

工事に伴う迂回路について

令和8年9月上旬頃～（予定） 西田端橋上流側の歩道が通行止めとなります。
※車道・下流側歩道は通行可能です（時期は別途周知いたします）



工所用ヤード及び仮栈橋は次回工事で使用するため、今回工事完了後も残ります

主な工事車両

名称	イメージ写真	主な工種	1日当たりの最大通行量 (西側ルート)
大型ダンプトラック		構造物取壊し工 搬出入路設置工	6台
ラフタークレーン		既製杭工 仮棧橋工	1台
トレーラー		既製杭工 仮棧橋工	6台
コンクリートミキサー車		珪砂吹付工 防護コンクリート工	6台



東京都第三建設事務所

善福寺川整備工事
(その211)

松尾建設株式会社

※本工事で使用する工事車両は、前面に右図のような表示をする予定です。

※大型クレーン搬入等の特に大きな車両については、早朝（午前5時～6時ごろ）に搬入、夜間（午後9時～10時ごろ）に搬出を行います。

環境調査

工事に伴う環境への配慮

- ①場内待機車両・作業時以外のクレーンはエンジンを止めて**アイドリングストップ**を行います。
- ②使用重機は**低騒音型、低振動型**を使用します。
- ③騒音の大きい機械は**防音シート等で養生**を行います。
- ④軽油の抜取り検査を行い、**不正軽油の混入防止**を行います。
- ⑤当工事に伴って発生する地下水位の水位変化を把握するため、観測井戸にて**水位確認**し、施工の影響がないか確認します。



〈使用重機への貼付ラベルの例〉

工事に伴う環境調査

当工事の施工に伴う、環境への影響を把握するための調査を行います。

○井戸分布調査

→調査区域内に分布する井戸を把握するために調査します。

（調査方法）

井戸を所有している方に調査会社がお伺いし、用途等の聞き取り、写真撮影等をさせていただきます。

○地下水調査

→当工事に伴って発生する地下水の水位変化を把握するために調査します。

（調査方法）

工事現場周辺に観測用の井戸を設置し、水位を継続的に調査します。

【調査会社】
株式会社 中央クリエイト

〈調査員写真〉



工事に伴う環境調査

○振動・騒音調査

→当工事に伴って発生する振動・騒音を調査し、定められた基準値内かを確認します。

(調査方法、頻度)

振動計・騒音計を用いて測定します。工事期間中に定められた工種毎（掘削工、埋戻し工、構造物取壊し工、舗装取壊し工、鋼管杭圧入工、バイブロハンマ工、杭引抜工）に調査します。

○地盤変形調査

→当工事に伴って発生する地盤変形の大きさを把握するため、沈下量と変位量を調査します。

(調査方法、頻度)

高さ測量・座標測量により測定します。

地盤変形調査においては、工事前・工事中及び工事後に調査します。

【問い合わせ先】

★善福寺川整備事業全般に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 設計総括担当

⇒ 電話 03-3387-5367

★今回の説明会に関すること、善福寺川整備工事(その211)その3に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 善福寺川事業センター

⇒ 電話 03-5305-3540

★善福寺川整備工事(その211)その3の内容や施工方法等の詳細に関すること

受注者:松尾建設株式会社

⇒ 電話 03-5378-2271

ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力お願い致します。